

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



村の川を飲み込もうとする砂丘の動きを、タカバングウ村の人々は植林によって固定しました。

砂漠化対処と現地の人々の事情

ブルキナファソはいま雨季。農繁期です。雨季は現地の人々にとって重要な食糧生産の季節ですが、不確実な降雨や土地の劣化等のため収穫は不充分かつ不安定で、住民は出稼ぎや家畜飼育を始めとする乾季を含めた様々な生業でそれを補っています。

そうした現地の生活と NGO 等が関わる砂漠化対処活動の間には、難しい問題が存在します。雨が始めれば木を植えたい NGO、種まきをしたい農家。雨季は短いので、どちらも作業が遅れると後の影響が大きく、砂漠化対処の重要性は分かっているにもかかわらずタイミングを逸して結果が悪ければ、やる気も続きません。また NGO は乾季にも住民参加の活動を展開しようとはしますが、不作の年には、住民は乾季も出稼ぎ等の活動で食糧問題を乗り切らねばならず、NGO の活動に参加する時間的な余裕はありません。

こうした状況を考慮し、私が関わったブルキナファソ北部のタカバングウ村では、不作の後の活動に住民が参加する場合、食糧を提供したこともありましたが、ただ、この方法は住民に喜んでもらえる反面、活動よりも食糧に関心が行ってしまい、不作でなかった年には、食糧提供がないため逆に活動参加者が減ってしまうという問題に繋がったこともあり、これでは事業終了後の住民による活動継続にも不安が残ります。最終的にこのプロジェクトは、植林等の活動を徐々に住民に無理のない規模とやり方に変えながら、住民の生活に直結する活動を増やすことによって、結果を残すことができました。

現在の活動地は中部のバム湖周辺地域に移っていますが、水食等、砂漠化問題に関わりながらも、タカバングウ村の場合と同様に、住民の方々の生活に身近な活動を展開しつつ成果を上げているようです。

元ブルキナファソ・プロジェクト調整員 瀬戸 進一



湖岸植林プロジェクト



湖岸沿いに植えられたユーカリは順調に成育し、年々大きくなっています。

現地では、雨季が始まっています。対象地域では、昨年は1ヶ月ほど早めに雨季入りしましたが、今年は例年通り7月から本格的な雨が降るようになりました。

雨が降ると、地域の未舗装路の路面が悪化するほか、バム湖が氾濫し湖岸沿いの土地を水没させてしまいます。昨年、湖に面した5村で、植林活動を行ないました。雨季入りした現在、全ての植林地には湖水が押し寄せていますが、植えた苗木は順調に成育しています。植栽した樹種の一つであるユーカリは、8～9月ごろに若葉を出します。

浸水した植栽地はぬかるんでいるため踏み入ることが出来ませんが、赤みのかかった柔らかそうな葉は、遠くからでもよく目立ちます。「植栽地が浸水した」と聞くと、落ち着いた気持ちになりますが、赤い若葉が群生して揺れている様子を実際に目にすると、ほっとします。

JICA 草の根技術協力事業

ロルガ村、タンギエマ村、タンポンガ村で行なっている「生産性の向上と組合活動の活性化」を図るプロジェクトは、順調に進んでいます。現地では雨季を迎えており、住民たちは4～6月にかけて用意した堆肥投入用の穴に堆肥を入れ、播種をする作業に追われました。堆肥穴は、3村で合計270万ヶ所以上が用意されました。

また、女性たちが取り組んでいる家畜飼育活動では、嬉しい知らせが届きました。5月下旬に3村で、計43頭の子羊が産まれたのです。これまでの取り組みでも利益は出てい

ましたが、毎年販売用の羊を自分たちで購入することは無理でした。今回、無事に子羊が産まれたことで、村の中で販売用の羊を調達できる見込みを立てられるようになりました。

雨季は、家畜にとっても病気にかかりやすい時期です。女性たちは慣れているのでそれほど心配していませんが、子羊たちが順調に成長してくれることを願っています。



産まれた子羊を抱きかかえる、タンギエマ村の女性グループのリーダー

ブルキナファソから 2



小学校緑化支援プロジェクト



今年も、各校で教師と生徒、保護者の協力により、苗木の植栽が行なわれました。

今年も、19校が校庭緑化に取り組み、6月24日～7月9日にかけて、合計2樹種760本が植栽されました。毎年のことですが、植栽まではとても忙しいスケジュールです。

ブルキナファソの小学校では、日本と同様に7～9月は夏季長期休暇です。したがって各小学校では、6月中～下旬に苗木が植えられます。この苗木は6月上旬には配布されるので、生徒たちは、その少し前に開催される成績発表会の結果を気にしながら、5月下旬ごろに植え穴の用意を始めます。

教師や生徒、保護者の方々にとっては大変ですが、このプロジェクトを開始した2007年からずっと参加していることもあり、手順や段取りには慣れています。6年に及ぶ継続した取り組みが、しっかりとした体制作りにも反映されています。

チャドから



今年の穀物栽培は、順調に始まりました

幸いなことに、現状では食料危機・不安が発生している地域はありません。ただ、南西部では、端境期に伴う穀物の販売価格の上昇により、購買力が低下しています。

穀物栽培は順調です。今年は降雨が例年よりもやや早く、6月に始まったため、種まきの時期も早まりました。種まき後、降雨が不足気味であったため成育が心配されましたが、7月になると雨が順調に降るようになり、回復しています。

一方、チャド東部では、今年の初め以来、サラマツ族（チャドに居住）とメシリ族（スーダンに居住）の間で争いが続いています。この結果、スーダン人とスーダンに居住していたチャド人が2万人以上、国境を越えてチャドに避難しました。これらの難民を受け入れるため、新たな難民キャンプの建設が検討されています。長期の設営にしなければいいかと思っています。



農作業は男性の担当ですが、女性たちも手伝います。

国内活動 1



毎年、春から夏にかけて様々なイベントが行なわれます。「緑のサヘル」もこの時期は多忙で、今年もチャリティ・コンサート（大阪）やアフリカン・フェスタ（横浜）に参加したほか、多くの講演・講義、また対談の依頼をいただきました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

4月	16日(火)	朝日新聞 取材協力（ブルキナファソ情報提供）	担当	(岡本)
	18日(木)	岩手県盛岡市立 下小路中学校（3年生6名） 事務所訪問	担当	(菅川)
	19日(金)	「世界食料デー月間」月例ミーティング	出席	(岡本)
5月	9日(木)	石川県金沢市立 高岡中学校（3年生6名） 事務所訪問	担当	(菅川)
		株式会社良品計画 無印良品 HP 募金券コーナー対談	出席	(菅川)
	11日(土)	アフリカン・フェスタ 2013（～5/12）	出展	
	20日(月)	「世界食料デー月間」月例ミーティング	出席	(岡本)
	26日(日)	チャリティ・コンサート 「～日本のうたとオペラのアリア～」	出展	
6月	25日(火)	2014 年オリジナル・カレンダー作製ミーティング		
	28日(金)	「世界食料デー月間」月例ミーティング	出席	(岡本)
7月	3日(水)	富山県立 桜井高校（2年生197名） 講演	講師	(菅川)
	5日(金)	農林水産省 海外派遣者国内研修（9名） 講義	講師	(菅川)
		途上国森づくり委員会	出席	(岡本)
		（主催：海外林業コンサルタンツ協会・国際緑化推進センター）		
		世界食料デー月間・プレイベント講演	講師	(岡本)
		「ブルキナファソ 食べることをめぐる諸事情」		
	23日(火)	「世界食料デー月間」月例ミーティング	出席	(岡本)

アフリカン・フェスタ 2013 開催



ブースでは、パネル展示や活動資料の配布、民芸品の販売を行ないましたが、中には現地のお話を聞くために、わざわざ遠方から駆けつけて下さった方もあり、うれしい限りでした。皆さん、本当にありがとうございました。

去る5月11日・12日（土・日）、横浜市の赤レンガ倉庫とイベント広場にて「アフリカン・フェスタ」が開催されました。2日間の入場者は15万人を越え、「緑のサヘル」のブースにも多くの方が立ち寄って下さいました。



国内活動 2



チャリティ・コンサート開催

去る5月26日(日)、毎年恒例となっているチャリティ・コンサートが、大阪府池田市民文化会館にて開催されました。今年のコンサートは、俳優でありタレントとしてもご活躍の辰巳琢郎さんをナビゲーターにお迎えし、澤畑恵美さんと福井敬さんという日本が誇るソプラノとテノールによる豪華共演となりました。

澤畑さんの優しく澄んだ歌声、福井さんの暖かく深みのある歌声、そして辰巳さんのダンディで軽妙洒脱なトークに、たちまち観客席は引き込まれました。懐かしい日本の歌やオペラのアリアの数々が心に染み入り、あっという間の2時間で、皆さん大満足の様子でした。

なお、このコンサートは「(財)いけだ市民文化振興財団」、「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」、「中西クリニック」の主催、「池田市」、「池田市教育委員会」、「池田市公益活動促進協議会」の後援、「株式会社音羽」の協賛で開催され、その収益から100万円が「緑のサヘル」に寄付されました。

澤畑さん、福井さん、辰巳さん、関係者の皆さん、お集まり下さった皆さん、ありがとうございました。



ロビーで、パネルの展示や活動紹介、民芸品の販売を行ないました。



福井さん、辰巳さんと共に。「緑のサヘル」のスタッフと当日ボランティアの皆さん。

「世界食料デー」月間 2013

毎年10月16日は国連が制定した「世界食料デー」です。そして10月は、より多くの方々に飢餓や食料問題について知ってもらうために、国際機関やNGOなどが呼びかけ、企業や教育機関と共に様々なイベントを行なう「世界食料デー月間」となっています。



「緑のサヘル」も「世界食料デー月間 2013」の呼びかけ団体の一つで、去る7月5日(金)には「ちよだボランティアセンター」において、代表の岡本が「ブルキナファソ 食べることをめぐる諸事情」と題してプレイベント講演を行ないました。

参加者の皆さんには、「分かりやすく、食料問題を考えるきっかけになった」と好評でした。皆さんも、私たちに何ができるかを一緒に考えてみませんか？

(<http://www.worldfoodday-japan.net>)



2014年カレンダー予約開始！！



毎年ご好評いただいている「緑のサヘル オリジナル・カレンダー」が、もうすぐ完成します。今年も、世界各国で人々の暮らしを撮り続ける写真家・小松義夫氏と、旅行人・編集長の蔵前仁一氏にご協力いただきました。

カレンダーの中では、西アフリカの風景が広がり、人々が生き生きと暮らしています。ひと時の間、アフリカの地に思いを馳せてはいかがでしょうか？

尚、カレンダーを1冊ご購入いただきますと、苗木10本を植えることができます。また丈夫な金属カマドを1世帯に1つ設置できます。ぜひ同封のチラシでお申込み下さい。

サイズ：A4 変形（広げた時 A3 変形）、印刷：オールカラー28ページ、価格：1部 1,000円（税込み）、送料 200円（全国一律・何部でも）

イベント参加のお知らせ

来る10月5日（土）・6日（日）、東京・日比谷公園において「グローバルフェスタ 2013」が開催されます。また10月19日（土）・20日（日）には、横浜・象の鼻パークで「よこはま国際フェスタ 2013」が開催されます。

いずれも市民に国際問題を身近に感じてもらうことを目的とした国際協力イベントで、国際機関やNGO、企業などが参加して活動紹介が行なわれるほか、各国の音楽や舞踊、料理を楽しむことができ、例年多くの方が会場を訪れます。

「緑のサヘル」は両イベントに参加し、パネルの展示と民芸品の販売を行なう予定です。お近くの皆さん、ぜひお越し下さい！

「グローバルフェスタ JAPAN 2013」

(<http://www.gfjapan.com/>)

「よこはま国際フェスタ 2013」

(http://yokohama-c-forum.org/about_festa2013.html)



「よこはま国際フェスタ」は 2011 年以来、2 度目の参加になります。



2012 年の「グローバルフェスタ」では、ブース内でミニ講演会も行ないました。

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

村井智恵子／高橋まり子／澤井温子／大久保久美子／永田ひろ子／天野洋子
塩沢拓夫／岩永孝子／小原喜代美／竹内信／佐藤京子／立花美江／丸山タミエ
町千恵子／林裕之／吉川千尋／新海真理子／須藤さい／石本雄大／小松義夫
太田弘子／綱島孝／北川華子／高松千枝子／菊山ひじり／岡本美智子／亘友子
山根二郎／石川祐一／立屋敷哲／株式会社アースアンドヒューマンコーポレーション
他 匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付頂きました 】

井上茂／有限会社セイントアロー／小川桂／賀川麻衣／菊地滋夫／那口真理子
大阪信愛女学院短期大学学生会／梶野修平・千恵子／赤山美苗／西山鐵之介
村上和代／小池昌子／瀬戸進一／大久保久美子／榎本みつ枝／田中ちえ子
かみひとねっとわーく京都事務局 蛭名健仁・加奈子／瀬戸栄一／瀬戸義子／浪川光代
丹邦子／小沢陽子／太田宜子／鈴木三樹／西村豊子／梅田暢子／米多喜久男／太田弘子
大段嘉宏・紀代子／宇都宮英土／ジャパンフォーサスティナビリティ CARE-WAVE
ヨシダアキコ／武知ハルミ／アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会
他 匿名をご希望の方 8名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

瀬戸義子／佐藤裕美／新田進
他 匿名をご希望の方 1名

上記は 2013 年 4 月 1 日から 7 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2013 年 8 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
アクトシステム株式会社／(社)日本経済団体連合会／(公信)地球環境日本基金
isave(シーブ株)／住宅エコポイント／アフリカ料理 トライブス
(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス



画像を提供しました

・ 杉並区立消費者センター 家庭科副読本「くらしと消費」



「緑のサヘル」からお知らせ

インターン大募集！

「緑のサヘル」の東京事務局では、インターンを募集中！NGO を体験し、現地の問題や国際協力について学んでみませんか？

ニュースレター発送、イベント運営、カレンダーの販売など様々なお手伝いをさせていただきます。ご興味を持たれた方は、最下部に記載の緑のサヘル・東京事務局の連絡先までメールまたはお電話にてお問い合わせください！

詳細は、「緑のサヘル」ホームページ（URL: <http://sahelgreen.org/>）に記載しています。是非、ご覧ください。ご応募お待ちしております！！

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

書き損じハガキ・切手などは「緑のサヘル」へ！

皆さんの家に、書き損じハガキや年賀状、未使用切手、余っている商品券や図書券はありませんか？もしありましたら、是非「緑のサヘル」までお送りください！



お送りいただきました書き損じハガキや年賀状、書中見舞いのハガキは新しいハガキや切手と交換し、商品券や図書券はお金に換えて、活動のために役立てさせていただきます。

【 もくじ 】

- | | |
|----------------|-----------|
| 1..表紙 | 5..国内活動 2 |
| 2..ブルキナファソから 1 | 6..事務局より |
| 3..ブルキナファソから 2 | 7..ありがとう |
| チャドから | 8..お知らせ |
| 4..国内活動 1 | |

< スタッフよりひと言 >

●ブルキナファソでは、イスラム教の断食期間が終わりました。以前、住民と一緒に断食をしたとき、飲めないのがつらかったことを思い出しました。（岡本） ●現地は雨季の只中。降らなければ干ばつ、降り過ぎれば洪水…何事もなく「普通」に降りますように。（菅川） ●5月にブルキナ事務所にて、庭のマングを食べつくしてきました。悲しいかな、来年までお預けです…（田村） ●神田祭の我が地元・紺屋町の段ボール神輿は驚くほど立派でした。神田囃子を聴いてインターンの山田さんが篠笛を習い始めました。うれしいです。（本所）

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.55

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 田村典子 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 N A S ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041